資料1-8

（別冊）

労働者健康福祉機構
平成２４年度業務実績参考資料

◎個別病院ごとの診療機能等・・・・・・・１

◎各労災病院の特徴と政策的役割・・・・５

独立行政法人　労働者健康福祉機構

個別病院ごとの診療機能等

	承認病床数	主な指定・届出等の状況（平成25年3月1日現在）						
		DPC対象病院	一般病棟入院基本料(病床数)		地域医療支援病院	がん診療連携拠点病院	災害拠点病院	アスベスト疾患センター（◎ブロックセンター）
			7対1	10対1				
道央せき	157			○				
道　央	312	○		○				◎
釧　路	500	○		○	○	○		○
青　森	474	○	○		○			
東　北	548	○	○		○	○	○	◎
秋　田	250			○				
福　島	406	○	○		○	○		
鹿　島	300	○	○				○	○
千　葉	400	○	○		○	○		○
東　京	400	○	○		○			○
関　東	610	○	○		○		○	○
横　浜	650	○	○		○	○	○	◎
燕	300	○		○	○			
新　潟	360	○	○		○	○		○
富　山	300	○		○		○		○
浜　松	312	○	○		○			○
中　部	621	○	○		○		○	○
旭	250	○		○				◎
大　阪	678	○	○		○	○		
関　西	642	○	○		○	○		○
神　戸	360	○	○					◎
和歌山	303	○	○		○		○	○
山　陰	383	○		○	○			○
岡　山	363	○	○		○			◎
中　国	410	○	○		○		○	○
山　口	313	○	○		○		○	○
香　川	394	○	○		○	○		○
愛　媛	306	○	○					○
九　州	450	○	○		○			○
門司セン	250	○		○	○			
長　崎	350	○	○		○			◎
熊　本	410	○	○		○	○	○	○
合　計	12,762	30	23	9	24	11	9	25

個院ごとの診療機能等

	平成24年度業務実績								
	平均在院日数	紹介率%	逆紹介率%	地域連携パス	クリニカルパス件数	クリニカルパス適用率%	患者満足度調査		
							入院総合評価	外来総合評価	入外平均評価(%)
道央せき	17.6	9.1	14.7	1	29	98.8	89.2	69.7	73.6
道　央	18.6	32.7	25.8	0	84	95.7	89.2	90.6	90.2
釧　路	14.1	68.2	40.1	5	105	85.1	90.3	72.1	78.6
青　森	18.0	48.5	45.9	0	69	100.0	91.1	77.7	80.9
東　北	14.2	65.8	45.1	7	114	73.3	95.8	79.7	85.8
秋　田	19.4	20.6	12.3	0	52	100.0	90.0	80.0	83.1
福　島	17.0	83.3	68.8	5	63	91.4	90.6	73.2	80.8
鹿　島	16.8	32.9	78.0	0	48	100.0	95.5	59.1	69.0
千　葉	12.0	78.1	59.1	4	377	100.0	86.3	67.0	72.6
東　京	15.0	71.6	49.0	1	130	97.6	88.0	77.7	80.6
関　東	14.1	73.8	45.6	7	181	96.5	93.1	81.0	84.6
横　浜	11.4	66.6	36.5	9	246	100.0	90.9	79.1	83.2
燕	19.5	77.7	43.5	1	100	87.3	86.6	72.8	76.3
新　潟	15.3	50.8	38.2	6	167	99.6	93.6	75.1	81.2
富　山	16.2	59.3	30.0	7	95	98.8	88.8	80.0	82.2
浜　松	14.9	64.8	30.1	1	38	84.8	91.1	81.8	84.9
中　部	14.4	57.4	70.8	7	144	67.1	93.6	78.2	82.8
旭	14.3	42.9	25.1	1	59	100.0	89.4	72.7	76.7
大　阪	11.0	79.6	96.5	9	197	90.7	94.7	80.4	87.3
関　西	12.6	73.7	64.7	5	268	70.7	93.9	85.3	89.6
神　戸	17.6	55.9	74.7	0	58	82.4	91.6	80.8	85.2
和歌山	13.5	51.7	49.4	8	126	76.7	91.3	76.7	82.7
山　陰	15.8	55.1	60.9	6	137	59.5	92.0	74.5	79.2
岡　山	15.4	54.7	77.5	2	111	94.6	93.1	74.2	80.0
中　国	14.5	73.1	56.8	7	123	91.8	92.2	76.0	82.5
山　口	16.0	59.5	37.9	2	91	82.4	87.5	72.8	79.1
香　川	14.4	74.6	48.9	8	606	96.4	92.5	70.8	76.5
愛　媛	16.9	33.6	34.0	0	188	92.6	86.4	71.3	75.3
九　州	15.1	63.7	80.5	2	157	88.8	91.9	85.2	87.1
門司セン	17.9	78.7	73.5	0	78	46.0	91.4	77.0	82.2
長　崎	16.1	68.0	60.4	4	32	100.0	93.2	78.6	83.7
熊　本	15.6	71.9	47.9	8	149	70.1	88.3	76.1	81.1
合　計	14.5	63.0	52.7	123	4,422	87.8	91.6	76.9	81.8

個別病院ごとの診療機能等

	平成24年度業務実績									
	救急患者数		労災患者比率%（入院）	労災患者比率%（外来）	労災疾病研究		労働局依頼の意見書作成・鑑別診断件数		アスベスト健診件数	特殊健康診断被検者数
	患者総数	（再掲）救急車搬送患者数			主任研究病院	分担・共同研究病院	意見書作成	鑑別診断		
道央せき	214	150	11.1	8.7		○	99	0	0	119
道　央	3,307	1,158	12.5	11.3	○	○	111	11	32	1,512
釧　路	4,410	1,715	2.6	6.2		○	129	2	26	547
青　森	4,639	761	2.9	3.7		○	34	3	53	407
東　北	6,078	2,471	2.4	5.0	○	○	123	4	562	1,357
秋　田	1,512	439	2.9	3.6		○	14	0	0	152
福　島	5,301	2,124	2.0	3.5		○	26	0	13	303
鹿　島	2,271	822	4.7	2.8		○	51	0	20	261
千　葉	9,415	3,208	2.5	3.5		○	164	0	830	2,016
東　京	10,040	3,638	2.3	4.6	○	○	169		696	1,477
関　東	12,206	5,253	2.3	2.5	○	○	273	4	194	1,092
横　浜	21,799	6,133	1.5	4.7	○	○	147	0	360	915
燕	3,697	1,993	2.1	4.5	○		64	0	38	129
新　潟	6,338	1,989	3.1	3.3		○	95		154	295
富　山	4,759	1,222	3.8	6.2		○	40	2	23	713
浜　松	8,205	3,650	2.2	5.1		○	79	1	26	477
中　部	13,346	3,639	2.5	7.8	○	○	262	0	89	781
旭	10,191	2,032	3.6	6.4		○	120	0	88	2,065
大　阪	4,780	2,255	1.2	2.3	○	○	141	4	144	918
関　西	5,728	3,362	1.1	4.4	○	○	157	0	1,004	2,055
神　戸	3,387	1,441	1.6	2.4		○	94	0	26	402
和歌山	13,012	3,085	0.9	2.3	○	○	42	2	29	1,110
山　陰	8,618	2,689	1.4	3.2	○		22	0	70	202
岡　山	9,629	2,362	5.9	6.3	○	○	64	17	2,296	3,252
中　国	12,708	3,406	2.5	4.4		○	90	2	23	1,059
山　口	5,543	1,708	3.4	4.1		○	59	6	62	253
香　川	9,616	3,508	2.2	12.3	○		73	42	43	6,278
愛　媛	3,713	745	4.0	6.0	○	○	54	19	28	883
九　州	9,424	2,733	2.6	4.1	○	○	124	4	659	1,596
門司セン	3,507	843	2.1	1.8		○	26	0	204	231
長　崎	4,649	1,939	3.8	4.8		○	133	3	376	699
熊　本	11,719	3,481	2.0	3.6		○	66	2	11	670
合　計	233,761	75,954	2.8	4.8	15	29	3,145	128	8,179	34,226

個別病院ごとの診療機能等

	平成24年度業務実績				
	臨床研修				専門・認定看護師数（H25.4.1現在）
	指定条件		研修医受入数（H25.4.1現在）	専修医レジデント受入数（H25.4.1現在）	
	基幹型	協力型			
道央せき					3
道　央		○		1	4
釧　路	○	○	2	1	12
青　森	○	○	2		4
東　北	○	○	8	9	8
秋　田		○			
福　島	○	○			5
鹿　島		○			3
千　葉	○	○	7	4	8
東　京	○	○	4	2	15
関　東	○		12	2	16
横　浜	○	○	15	11	18
燕		○			6
新　潟	○	○			7
富　山		○			3
浜　松	○	○			3
中　部	○	○	12	10	12
旭	○	○	2	4	4
大　阪	○	○	10	22	19
関　西	○	○	7	10	19
神　戸	○	○	6	6	6
和歌山	○	○			7
山　陰	○	○	4	1	4
岡　山	○	○	5	3	9
中　国	○	○	5		5
山　口	○	○	3	2	9
香　川	○	○			11
愛　媛	○	○			2
九　州	○	○	6	6	9
門司セン		○			2
長　崎	○	○			4
熊　本	○	○	3		6
合　計	25	30	113	94	243

各労災病院の特色と政策的役割

病院名 （　）内は開設年月 承認病床数 （H25.3.1現在）	常勤医師数 H25.4.1現在	労災疾病等13分野医学研究における位置付け センター病院	協力病院	アスベスト疾患センター ◎ブロックセンター	勤労者心の電話相談	地域保健医療計画等における位置付け 4疾病 がん	脳卒中	急性心筋梗塞	糖尿病	5事業 救急	災害	へき地	周産期	小児	地域医療支援病院	がん診療連携拠点病院	がん診療連携拠点病院に準じる病院	災害拠点病院	概ね10km以内の主な公的病院 （労災病院からの直線距離） ※太字は厚労省所管の国立病院等	労災病院における特色
北海道中央労災病院 （S30. 8） 312	37	○（じん肺）	○（振動障害） ○（アスベスト）	◎				○	○	○									○岩見沢市立総合病院（2.8km） ○市立三笠総合病院（7.6km）	・じん肺症の診断、治療、リハビリテーションの専門病院として北海道随一の実績 ・北海道における職業性呼吸器疾患の予防、治療及び研究の拠点病院として道内全域から患者受入れ ・「粉じん等による呼吸器疾患」のセンター病院（労災疾病研究センター）であり、アスベスト疾患ブロックセンターも設置し、地域医療機関と連携しながら、診断、治療、症例収集を実 ・南空知地域において岩見沢市立総合病院とともに救急の二本 ・市内の脳外科専門病院との間で救急患者の相互受入体制を構
北海道中央労災病院 せき損センター （S30. 8） 157	15		○（せき損）						○										○市立美唄病院（1.1km）	・脊髄損傷、頚髄損傷、外傷性骨折等の整形外科を主体とする外科系病院 ・北海道全域における唯一のせき損センターとして最先端のせき損医療を提供、専門センターとして「腰痛・せき損センター」を設置 ・広域災害など緊急時の患者搬送用として保有しているヘリポートを利用し、平成24年度で50人を超えるせき損患者を受け ・地域医療計画においては、糖尿病とその他の生活習慣病全般を中心として医療を提供
釧路労災病院 （S35. 1） 500	56		○（振動障害）	○	○	○	○		○	○					○	○			○市立釧路総合病院（3.6km） ※地域がん診療連携拠点病院 ○釧路赤十字病院（0.6km）	・勤労者心の電話相談開設により過労自殺など自殺予防対策を推進するとともに、女性外来を設置して勤労女性の健康管理を ・振動障害についての研究や高度専門的医療の提供にも実績 ・充実したリハビリテーション施設をもとに、職場復帰のためのリハビリテーション医療において地域に貢献 ・道東地区における外科、脳神経外科、整形外科領域の中核病 ・2.5次救急の実施、24時間応需体制の確立、ドクターヘリへの参加協力等により救急医療・災害医療の面で地域医療に貢献
青森労災病院 （S37. 2） 474	35		○（職場復帰リハ）			○	○	○	○	○		○		○	○				**○国立病院機構八戸病院（4.5km）** ○八戸市立病院（3.7km） ※地域医療支援病院 ※地域がん診療連携拠点病院 ○八戸赤十字病院（8.3km）	・原子力関連施設が立地したところから、放射能被曝担当病院に指定され、原子力関連施設（日本原燃）との患者受入締結施設であり、共同で被ばくを想定した患者受入れの訓練を定期的 ・地域医療計画において八戸地域を中心とした二次救急医療等において「地域医療ネットワークの中心」として医療を提供しているとの評価 ・青森がん診療連携協議会に参加し、がん診療連携拠点病院と連携
東北労災病院 （S29. 1） 548	88	○（脳・心疾患）	○（物理的因子） ○（アスベスト）	◎	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○		○	**○仙台社会保険病院（0.8km）** ○東北大学病院（1.8km） ※地域がん診療連携拠点病院 ○仙台市立病院（3.8km） **○国立病院機構仙台医療センター（3.8km）** ※地域医療支援病院 ※地域がん診療連携拠点病院 **○東北厚生年金病院（8.2km）** ※地域医療支援病院 ※地域がん診療連携拠点病院 ○財団法人仙台市医療センター仙台オープン病院（3.8km） ※地域医療支援病院 ○仙台赤十字病院（6.1km）	・「業務の過重負荷による脳・心臓疾患（過労死）」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・「高・低温、気圧、放射線等の物理的因子による疾患」分野の研究における主任研究施設 ・地域がん診療連携拠点病院として、リニアック（放射線治療機器）を設置し、また災害拠点病院として貢献 ・アスベスト疾患ブロックセンターとして、東北地区のアスベスト診断、治療等に貢献 ・職業性皮膚疾患研究の中核施設として、その研究成果を全国に普及 ・東日本で数少ないバイオクリーンルーム２室を完備した手術室を使用して年間250件を超える人工関節置換術を施行
秋田労災病院 （S29. 1） 250	15		○（職場復帰リハ）			○	○	○	○	○		○							○大館市立総合病院（9.5km） ※地域がん診療連携拠点病院	・リハビリテーション医療について県内随一の専門病院であり、運動浴・温泉療法を実施 ・「せき損・腰椎センター」設置し、地域のせき損患者を受入 ・大館・鹿角医療圏で唯一の障害者病棟保有病院、施設等で対応困難な肢体不自由障害者を受入 ・麻痺患者に対する機能的電気刺激の治療も実施し、地域から頼られる存在
福島労災病院 （S30. 5） 406	32		○（職場復帰リハ）		○	○		○		○	○				○	○			○いわき市立総合磐城共立病院（0.4km） ※地域医療支援病院	・地域がん診療連携拠点病院として、リニアック（放射線治療機器）を設置 ・放射線量測定のための機器を整備し、放射能被曝担当病院で東京電力㈱福島第一並びに第二原子力発電所と「放射線物質による汚染を伴う傷病者の診療に関する覚書」を締結し、定期的に開催される関係機関、地域住民が参加する原子力防災訓練に参加し、医療処置訓練などを実施 ・地域医療計画において「第二次救急医療機関」の指定を受けいわき市の輪番制に参加、福島県救急医療情報システムに協力
鹿島労災病院 （S56. 5） 300	10		○（メンタル）	○			○			○	○							○	○神栖済生会病院（11.5km）	・鹿島臨海工業地帯及び利根川流域における産業医療のセンター病院 ・メンタルヘルス・和漢診療センターを設置し、ストレス性疾患、勤労女性特有の疾患、痛み、しびれを伴う諸疾患に対応 ・昭和57年の鹿島臨海工業地帯で発生した重油脱硫装置の爆発事故への対応により地域からの信頼を高め、平成11年の東海村臨界事故に際しては、健診についての医師団派遣など緊急医療にも実績を残し、災害拠点病院として指定 ・当地域は診療所が５カ所、療養型の病院が１カ所あるのみ、急性期を担える唯一の医療機関
千葉労災病院 （S40. 2） 400	92		○（せき損） ○（アスベスト） ○（両立支援）（がん）	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○			○帝京大学ちば総合医療センター	・せき髄損傷、リハビリテーション、じん肺等の研究や治療に実績 ・アスベスト関連疾患に対応しており、検診のみでなく、医療従事者に対する研修や診断（読影）、治療に関する指導を行い、他の地域の医療機関からの診療依頼も受託 ・地域がん診療連携拠点病院として、リニアック（放射線治療機器）を設置、地域医療連携パス作成の中心病院 ・災害医療協力病院として災害拠点病院との連携の下にある
東京労災病院 （S24. 5） 400	79	○（両立支援）（がん）	○（アスベスト）	○	○		○			○					○				○財産法人東京都保健医療公社荏原病院（5.8km） ※地域医療支援病院 ○大森赤十字病院（3.1km） **○社会保険蒲田総合病院（2.5km）**	・「職場復帰・治療と職業の両立支援（がん）」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・産業中毒分野における研究分担施設として、スーパークリーンルームを使用した診療・治療を実施 ・広域災害時の緊急時患者受け入れ態勢を整備するとともに、羽田空港への災害時支援でも貢献 ・東京都脳卒中急性期医療・東京都二次救急医療を担う医療機関の指定

病院名 （　）内は開設年月 承認病床数 （H25.3.1現在）	常勤医師数 H25.4.1現在	労災疾病等13分野医学研究における位置付け センター病院	労災疾病等13分野医学研究における位置付け 協力病院	アスベスト疾患センター ◎ブロックセンター	勤労者心の電話相談	地域保健医療計画等における位置付け 4疾病 がん	4疾病 脳卒中	4疾病 急性心筋梗塞	4疾病 糖尿病	5事業 救急	5事業 災害	5事業 へき地	5事業 周産期	5事業 小児	地域医療支援病院	がん診療連携拠点病院	がん診療連携拠点病院に準じる病院	災害拠点病院	概ね10km以内の主な公的病院 （労災病院からの直線距離） ※太字は厚労省所管の国立病院等	労災病院における特色
関東労災病院 （S32．6） 610	113	○（筋・骨格系）	○（働く女性） ○（両立支援）（がん）	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○		○	○	○日本医科大学武蔵小杉病院（1.2km） ○川崎市立川崎病院（6.4km） ○川崎市立井田病院（1.8km） ※地域がん診療連携拠点病院 ○聖マリアンナ医科大学東横病院（0.7km）	・「身体への過度の負担による筋・骨格系疾患」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・勤労者医療の専門センターとして「働く女性メディカルセンター」を設置。「女性専門外来」と合わせ働く女性医療の草分け的存在 ・関東地区有数のリハビリテーション専門病院で職場復帰のためのリハビリに実績 ・災害拠点病院として貢献しており、新潟県中越沖地震や東日本大震災に際しては、被災地に医療救護班を派遣するなどの緊急支援を実施
横浜労災病院 （H3．6） 650	133	○（メンタル）	○（筋・骨格系） ○（両立支援）（がん）	◎	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	○昭和大学横浜市北部病院（5.5km） ○済生会横浜市東部病院（6.0km） ※地域医療支援病院	・「勤労者のメンタルヘルス」のセンター病院（労災疾病研究センター）であり、充実した心療内科を擁し、勤労者心の電話相談、メール相談を24時間365日実施 ・じん肺についても実績を有し、アスベスト疾患ブロックセンターを設置し、併せて我が国のアスベスト疾患の診断状況を調 ・横浜市が整備する地域中核病院（横浜市を７地域に区分し、各区分ごとに中核病院を位置付け）の中の一つとして北東部地域中核病院として位置付け ・勤労者医療、癌対策、脳卒中急性期医療、心血管系疾患（心筋梗塞等）、糖尿病（生活習慣病）対策、救急医療、小児医療、周産期医療、老年病対策を中心に整備し地域医療を提供 ・地域がん診療連携拠点病院として、ガンマナイフ及びリニアック（放射線治療機器）を整備
燕労災病院 （S54．5） 300	26	○（職業性外傷）				○	○	○	○	○	○				○				○新潟県立吉田病院（6.3km） ○新潟県済生会三条病院（4.5km） ○厚生連三条総合病院（3.3km）	・プレス機等による手指外傷などを受け入れる地域の救急センター的病院で、手指などの接着については日本有数の実績を有し、所属医師が行った「手指切断及び不全切断における重症度及び損傷形態の機能回復ならびに職場復帰に対する影響」に関する研究は、世界的に権威のあるアメリカの手の外科学会で高い評価を得ており、「四肢切断、骨折等の職業性外傷」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・地域のニーズの高い救急医療、がん、手の外科、心疾患、消化器疾患、呼吸器疾患、脳疾患、生活習慣病、人工透析、リハビリテーション治療をはじめ、健康診断、アスベスト検診、人間ドック、健康管理指導、過労死予防指導などに関して良質の医療を提供 ・地域医療計画の中で透析医療提供体制の充実を求められている中、県央地域の透析医療で中心的役割を果たす病院の一つ
新潟労災病院 （S33．6） 360	41		○（職業性外傷）	○		○	○	○	○	○	○				○	○			○新潟県県立中央病院（7.1km） ※地域がん診療連携拠点病院 ○厚生連上越総合病院（2.0km）	・アスベスト関連疾患に対応しており、地域がん診療連携拠点病院として、リニアック（放射線治療機器）を設置 ・放射能被曝担当病院に指定され、東京電力柏崎刈羽原子力発電所と被爆者受入に関する協定を締結し、放射線被ばく時の傷病者の搬入等救急対応の実地訓練を実施 ・上越圏における救急医療の一翼を担うとともに、がん、高血圧、糖尿病などの生活習慣病、脳神経外科、整形外科疾患への専門的対応とリハビリテーション医療などを大きな特色
富山労災病院 （S33．5） 300	36		○（じん肺） ○（アスベスト）	○	○	○	○	○	○	○	○					○			○黒部市民病院（5.8km） ※地域がん診療連携拠点病院	・粉じん作業労働者などの診断・治療のため、「呼吸器病センター」を設置、地域における職業性呼吸器疾患治療の中核的病院の役割を担っている。 ・アスベスト関連疾患に対応しており、地域がん診療連携拠点病院として、リニアック（放射線治療機器）及びＰＥＴ（陽電子放射断層撮影装置）等の高度先進医療機器を設置 ・新富山県医療計画において「新川医療圏」のがん診療、救急医療、糖尿病の急性増悪事の専門的治療を担う病院としての位置付け
浜松労災病院 （S42．4） 312	45		○（アスベスト）	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○				○厚生連遠州病院（2.1km） ○浜松市医療公社県西部浜松医療センター（4.9km） ※地域医療支援病院 ※地域がん診療連携拠点病院 ○国立大学法人浜松医科大学付属病院（6.1km） ※地域がん診療連携拠点病院 ○社会福祉法人聖隷福祉事業団聖隷浜松病院（3.2km） ※地域医療支援病院 ※地域がん診療連携拠点病院	・職業と疾病の関連性の知見集積のため、医師を中心に毎月地域事業場訪問を実施するなど充実した地域の勤労者医療支援に ・じん肺についても高度専門的医療を提供し、アスベスト関連疾患にも対応 ・医療連携公開講座の開催等、産業保健領域において地域の医療者を支援する役割を担うなど、「労災医療」に関する拠点病院と位置付け ・県と災害時の医療救護活動に関する協定を締結するなど災害医療への取組み ・急性心筋梗塞などの心疾患について循環器と心臓血管外科の連携により地域医療に貢献、特に隣接する中東遠地区には心臓血管外科を有している医療機関がないため、中東遠地区の診療所、病院等から紹介患者を多数受入
中部労災病院 （S30．5） 621	115	○（せき損） ○（両立支援）（糖尿病） ○（働く女性）	○（メンタル） ○（職場復帰リハ）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	**○社会保険中京病院** ※地域医療支援病院 ※地域がん診療連携拠点病院 ○社団法人日本海員名古屋掖済会病院（2.0km） ※地域医療支援病院	・所属医師が行った「頚髄症、頚椎損傷での新しい運動評価法、１０秒足踏みテスト」に関する研究は、ヨーロッパ頚椎学会において高い評価を得ており、「せき髄損傷」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・「働く女性のためのメディカル・ケア」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・「職場復帰・治療と職業の両立支援（糖尿病）」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・地域医療において、災害拠点病院に指定されているとともに、名古屋市地域防災計画において、特に重症患者の治療・収容を行い災害医療の拠点となる災害医療拠点病院１４施設の中 ・東海地域随一のリハビリテーション施設を誇り、職場復帰のリハビリに実績
旭労災病院 （S35．6） 250	40		○（じん肺） ○（アスベスト）	◎		○	○ ※リハ機能のみ	○	○	○			○ ※健診のみ	○					**○国立病院機構東尾張病院（0.5km）** ○瀬戸市、尾張旭市、長久手町公立陶生病院（5.9km） ○愛知医科大学病院（4.5km）	・「粉じん等による呼吸器疾患」・「アスベスト関連疾患」について、研究、高度専門的医療の提供、指導医講習の実施など積極的に活動 ・じん肺に関しては中部地区のセンター的病院であり、アスベスト疾患ブロックセンターを設置 ・地域保健医療計画において、がん対策及び循環器医療対策の急性期治療病院として位置付け ・小児科について尾張旭市の要請を受け発達支援外来を設置 ・平成25年4月から二次救急病院に指定予定
大阪労災病院 （S37．3） 678	125	○（感覚器障害）	○（職場復帰リハ） ○（両立支援）（がん）		○	○	○	○	○	○			○	○	○	○			**○国立病院機構近畿中央胸部疾患センター（0.6km）** ○社会医療法人生長会ベルランド総合病院（5.6km） ○市立堺病院（3.0km）	・「騒音、電磁波等による感覚器障害（騒音下での職業性難聴や紫外線・赤外線やレーザー光線等による眼疾患、溶接光等による角膜障害、屈折異常、電気性眼炎、ＶＤＴ作業による眼精疲労）」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・業務による脳・心臓疾患、せき髄損傷等の研究や高度専門的医療の提供にも実績 ・地域医療においても、高度医療技術の導入、専門別診療体制の充実による地域の先進医療中核病院であり、地域がん診療連携拠点病院としてリニアック（放射線治療機器）を設置 ・地域支援の観点から、地域の企業との連携を目的とした「大労クラブ」を設立し、地域の勤労者医療に貢献

病院名 （　）内は開設年月 承認病床数 （H25.3.1現在）	常勤医師数 H25.4.1現在	労災疾病等13分野医学研究における位置付け センター病院	労災疾病等13分野医学研究における位置付け 協力病院	◎アスベスト疾患センター ○ブロックセンター	勤労者心の電話相談	地域保健医療計画等における位置付け 4疾病 がん	4疾病 脳卒中	4疾病 急性心筋梗塞	4疾病 糖尿病	5事業 救急	5事業 災害	5事業 へき地	5事業 周産期	5事業 小児	地域医療支援病院	がん診療連携拠点病院	がん診療連携拠点病院に準じる病院	災害拠点病院	概ね10km以内の主な公的病院 （労災病院からの直線距離） ※太字は厚労省所管の国立病院等	労災病院における特色
関西労災病院 （S28．1） 642	108	○（産業中毒）	○（両立支援） （がん）	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○			○県立尼崎病院（4.4km） ※地域医療支援病院 ○県立塚口病院（3.0km） ○県立西宮病院（4.2km） ※地域医療支援病院 ○兵庫医科大学病院（2.0km） ※地域がん診療連携拠点病院	・産業中毒について、我が国随一の臨床研究、健診、治療、リハビリテーションを実施し、所属医師の研究論文が化学物質の曝露による産業中毒分野で世界的に権威のある学術誌に掲載され、高い評価を得ており、「化学物質の曝露による産業中毒」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・「職場復帰・治療と職業の両立支援（がん）」にも実績があり、乳がんの治療においては圧倒的なシェアを持つ ・地域医療においても、重症治療部（ＩＣＵ）と循環器重症室（ＣＣＵ）を有する阪神間の救急施設として貢献 ・兵庫県地域リハビリテーション連携指針に基づき圏域リハビリテーション支援センター、兵庫県肝炎対策においては肝疾患専門医療機関として指定 ・地域支援の観点から、地域の企業との連携を目的とした「関労クラブ」を設立し、地域の勤労者医療に貢献
神戸労災病院 （S39．7） 360	53		○（じん肺） ○（アスベスト）	◎	○			○	○	○							○		**○社会保険神戸中央病院（5.6km）** ○神戸赤十字病院（1.7km） ※地域医療支援病院 ○国家公務員共済組合連合会六甲病院（3.6km） ○神戸逓信病院（0.3km）	・じん肺についての研究、高度専門的医療の提供に実績があり、アスベスト疾患ブロックセンターを設置 ・有害業務従事による職業性疾病の早期発見と予防に早期から積極的に取組み ・脳疾患・心疾患・腰痛症に対する高度専門的医療の提供にも実績 ・強みである整形外科（筋骨格系及び結合組織の疾患）対象患者は、広域からの紹介も多く当院を含めた近隣３病院の中で約４０％のシェアを占めており地域の疾病に対応できる急性期医療を担っている
和歌山労災病院 （S41．6） 303	67	○（働く女性）	○（両立支援） （糖尿病）	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○和歌山県立医科大学付属病院（9.4km） ※県がん診療連携拠点病院 ○日本赤十字社和歌山医療センター（5.9km） ※地域医療支援病院 ※地域がん診療連携拠点病院 ○済生会和歌山病院（5.5km）	・「働く女性のためのメディカル・ケア」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・有機溶剤中毒、振動障害の予防、高度専門的医療を提供し勤労者医療に大きな役割 ・地域医療計画において、脳卒中、急性心筋梗塞、骨折を含む各種運動器疾患、糖尿病、小児救急、周産期医療のネットワークにおける高度・専門的治療実施医療機関として位置付け ・全県下を対象とした脳疾患救急医療を実施 ・地域支援の観点から、地域の企業との連携を目的とした「わろうクラブ」を設立し、地域の勤労者医療に貢献
山陰労災病院 （S38．6） 383	66	○（振動障害）		○	○	○	○	○	○	○		○			○		○		○鳥取大学医学部付属病院（4.4km） ※県がん診療連携拠点病院 **○国立病院機構米子医療センター（1.8km）** ※地域医療支援病院 ※地域がん診療連携拠点病院	・ＦＳＢＰ％測定機器や振動覚閾値検査機器等特殊機器を保有し、所属医師が行った「振動障害の客観的診断法としてのＦＳＢＰ％の末梢循環障害の影響についての研究」は、国際振動障害カンファレンスで高い評価を得ており、「振動障害」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・地域医療においても、中枢神経、循環器、消化器、腎代謝、骨・関節症等を５本柱とする山陰地域の中核病院として貢献 ・救急医療では西部域圏における救急医療を担う二次救急医療機関とされており、救急車搬送患者数は近隣病院の中で一番多く地域の救急医療を担っている
岡山労災病院 （S30．5） 363	54	○（アスベスト）	○（じん肺） ○（メンタル） ○（両立支援） （がん）	◎	○	○	○		○	○					○		○		○岡山赤十字病院（3.6km） ※地域がん診療連携拠点病院 ○岡山市立病院（5.7km） ○岡山大学病院（5.3km） ※県がん診療連携拠点病院 ○岡山済生会総合病院（7.5km） ※地域がん診療連携拠点病院	・所属医師が行った「日本におけるアスベストばく露による悪性中皮腫の臨床像」、「石綿曝露による健康障害」は、米国臨床腫瘍学会等で高い評価を得、アスベストの治療、研究開発において我が国をリードしており、「アスベスト関連疾患」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・じん肺、せき髄損傷、有機溶剤、鉛中毒、振動障害などの研究、高度専門的医療の提供にも実績を有し、岡山市南部地区における勤労者医療の中核病院 ・岡山県脳卒中医療体制に参加、急性期病院として脳卒中の診断・治療及びリハビリテーションの役割を担う ・岡山県南東部の二次救急に参加するとともに内科及び小児科について二次救急輪番制参加
中国労災病院 （S30．5） 410	72		○（職場復帰ﾘﾊ） ○（両立支援） （がん）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	**○国立病院機構呉医療センター（4.5km）** ※地域医療支援病院 ※地域がん診療連携拠点病院 ○国家公務員共済組合連合会呉共済病院（5.5km） ※地域医療支援病院	・整形外科疾患、脳・循環器疾患に対する急性期からの高度専門的リハビリテーションを実施（中国地方有数のリハビリテーション施設も保有） ・脳・循環器について高度専門的医療を提供し、過労死の予防や早期社会復帰に向けた活動に実績 ・地域医療においても、救急に特色を有し、地域災害医療センターの指定 ・医療計画において「乳がん」「脳卒中」について急性期医療を、「急性心筋梗塞」については急性期から回復期・再発予防までを、「周産期医療」については、比較的高度な医療を行う医療機関として位置付け ・保有しているヘリポートを利用して広域搬送の拠点となる等、呉医療圏の二次救急を担う位置付け
山口労災病院 （S30．5） 313	43		○（職場復帰ﾘﾊ） ○（働く女性） ○（両立支援） （糖尿病）	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	○山陽小野田市民病院（1.5km） ○山口大学医学部付属病院（6.7km） ※県がん診療連携拠点病院	・リハビリテーション医療施設としては県内最高レベル、早期からメンタルヘルスケアを取り入れた手法を導入するなど先駆 ・脳・循環器、メンタルヘルスについての研究、高度専門的医療の提供についても実績 ・特殊健診のほか、胃の集団健診、超音波健診等県内全域にわたる健診活動を実施しており、地域の信頼を得るとともに、災害拠点病院としても貢献
香川労災病院 （S31．5） 394	63	○（メンタル）		○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○			○坂出市立病院（5.0km）	・「勤労者のメンタルヘルス」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・職場復帰のためのリハビリテーションについても先駆的に取り組み、県下でも中心的存在 ・アスベスト関連疾患に対応しており、地域がん診療連携拠点病院として、リニアック（放射線治療機器）を設置 ・香川県が設置する「石綿（アスベスト）疾患診療ネットワーク」において県内唯一の三次医療機関（中皮腫の診断、治療ができるだけでなく、より専門的かつ指導的な拠点病院）として位置付け ・香川県が進めている有機的な医療連携体系の中核的医療機関として、地域連携クリニカルパス（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病）の導入を促進 ・平成25年4月から災害拠点病院を取得予定
愛媛労災病院 （S31．6） 306	33	○（働く女性）	○（振動障害）	○			○			○			○				○		○県立新居浜病院（5.0km） ○医療法人住友別子病院（3.6km） ※地域がん診療連携拠点病院	・「働く女性のためのメディカル・ケア」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・勤労者のメンタルヘルス、働く女性のためのメディカルケア、職業復帰のためのリハビリテーションに加えアスベスト関連疾患とその対策に実績 ・離島を含む振動障害巡回健診などを実施し、振動障害に対する専門的医療の提供に実績 ・ＩＣＵを持つ救急医療体制、リニアックを有し広範なガン治療に対応など、東予地区の中核病院として地域医療に貢献 ・整形外科、外科、内科領域の職場復帰のための専門リハビリテーションにも実績

病院名 （　）内は開設年月 承認病床数 （H25.3.1現在）	常勤医師数 H25.4.1現在	労災疾病等13分野医学研究における位置付け		◎アスベスト疾患センターブロックセンター	勤労者心の電話相談	地域保健医療計画等における位置付け										地域医療支援病院	がん診療連携拠点病院	がん診療連携拠点病院に準じる病院	災害拠点病院	概ね10km以内の主な公的病院 （労災病院からの直線距離） ※太字は厚労省所管の国立病院等	労災病院における特色
						4疾病				5事業											
		センター病院	協力病院			がん	脳卒中	急性心筋梗塞	糖尿病	救急	災害	へき地	周産期	小児							
九州労災病院 （S24. 2） 450	83	○（職場復帰リハ） ○（物理的因子）	○（振動障害）	○	○	○	○	○	○	○					○				**○国立病院機構小倉医療センター（3.8km）** ※地域医療支援病院 ○北九州市立医療センター（5.5km） ※地域がん診療連携拠点病院 ○財団法人平成柴川会小倉記念病院（5.6km） ○特定医療法人北九州病院北九州総合病院（1.7km）	・リハビリテーション医療の先駆的病院として我が国有数の総合的リハビリテーション医療を展開（勤労者骨・関節疾患治療研究センター、勤労者リハビリテーションセンター）し、「職場復帰のためのリハビリテーション」のセンター病院（労災疾病研究センター）であり、全国にリハビリのノウハウを提供 ・「高・低温、気圧、放射線等の物理的因子による疾患」のセンター病院（労災疾病研究センター） ・職業性外傷、せき髄損傷、筋・骨格系疾患、振動障害についての研究や高度専門的医療の提供にも実績 ・多人数用の高気圧酸素治療タンクを有し、職業性の潜水病のほか、CO中毒、突発性難聴、ガス壊疽、末梢血管障害等の治療に実績を有し、地域医療に大きく貢献 ・北九州市の二次救急医療体制の一角を担うとともに、眼科・耳鼻咽喉科救急医療体制にも参加、さらに当院から南下隣接する京筑地区の休日・夜間救急センターとも協力体制を構築
九州労災・門司メディカルセンター （S30. 8） 250	33		○（物理的因子）			○	○	○	○	○					○				○市立門司病院（4.5km） ○社団法人日本海員日本海員掖済会門司病院（1.0km） ○医療法人財団池友会新小文字病院（7.0km）	・門司港地区の労働災害に対応する等、骨関節疾患等の急性期医療に実績 ・北九州市の医療計画の中の救急医療体制を支える病院として位置付けられる等、門司港地区において救急医療をささえうる唯一の総合病院 ・専門センターとして「脳・循環器センター」を設置し、循環器・脳血管疾患の急性期・慢性期医療を実施 ・先進医療「多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術」を実施
長崎労災病院 （S32. 5） 350	47		○（筋・骨格系） ○（アスベスト）	◎	○		○	○		○	○				○				○佐世保市立総合病院（4.4km） ※地域がん診療連携拠点病院 ○国家公務員共済組合連合会佐世保共済病院（4.6km）	・じん肺についての高度専門的医療を提供するとともに、アスベスト疾患ブロックセンターを設置し、検診のみでなく、医療従事者に対する研修や診断（読影）、治療に関する指導を行い、他の地域の医療機関からも診療依頼も受ける。 ・県北部における整形外科の脊椎領域でのセンター的病院であるとともに、脳・循環器についても高度専門的医療の提供に実 ・脳卒中に係る高度な治療が可能な医療機関として。佐世保地域医療圏で唯一、「高次脳卒中センター」の認定を受ける等長崎の外科系基幹病院として地域に貢献 ・地域医療においても、脊椎領域について地域から信頼を得ており、ドクターヘリ等により離島地区から患者搬送を年間30件以上受ける等、県北部及び佐賀県西部地域の基幹病院として貢献
熊本労災病院 （S29. 2） 410	71		○（振動障害） ○(両立支援) （糖尿病）	○		○	○	○		○	○		○	○	○	○		○	○健康保険八代総合病院（2.6km）	・業務負荷による脳・循環器疾患について実績を有し、予防から早期発見、早期治療及び治療後の早期社会復帰に向けた活動を展開 ・振動障害についての研究や高度専門的医療の提供にも実績 ・地域がん診療連携拠点病院として、リニアック(放射線治療機器）を備え、病気とつきあいながらの職場復帰の活動に取り組むとともに、アスベスト関連疾患にも対応 ・地域医療においても、熊本県南地域の中核的医療センターとして同地域の救急医療を担うとともに、災害拠点病院として地域から頼られる存在

（注）協力病院は分担研究者及び共同研究者を有する病院を計上している。